

貧酸素水塊速報 (2007年)

千葉県水産総合研究センター(編集)
 神奈川県水産技術センター
 内湾底びき網研究会連合会(千葉県)

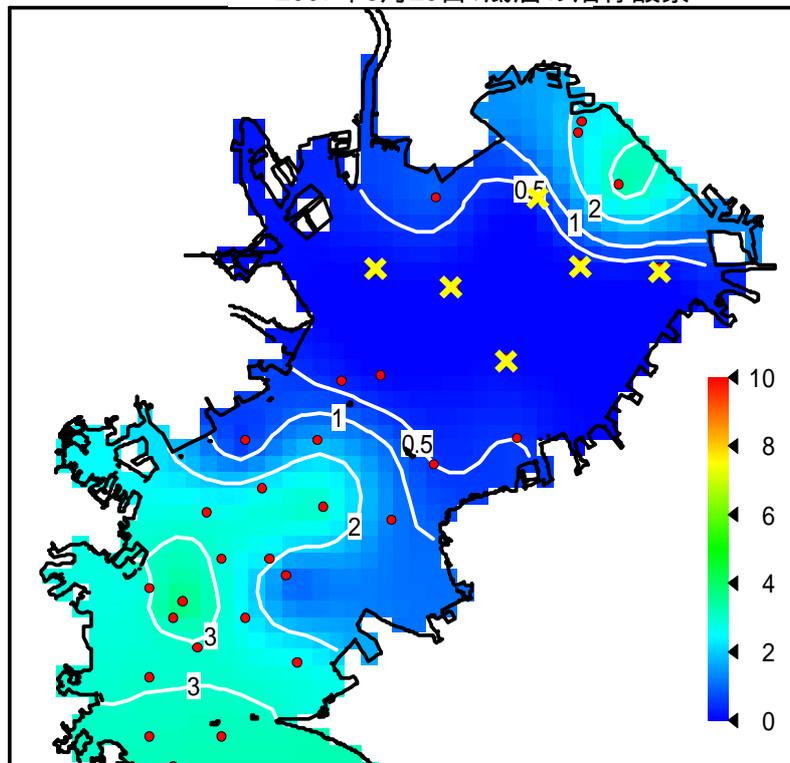
協力:海上保安庁海洋情報部
 協力:千葉県環境研究センター
 協力:東京都環境局
 協力:第三管区海上保安本部

8月6日の調査では貧酸素化は弱まっていましたが、再び貧酸素化が強まっており、中ノ瀬と湾奥以外は貧酸素水塊に覆われていました。特に、内湾中央部の水深10m以深では、海底上におよそ1~2mの厚みで無酸素水塊が分布していました。

水色は褐色気味でしたが、濃い赤潮は見られませんでした。なお、出現プランクトンの優占種は珪藻のタシオシラ (*Thalassiosira* spp.)と珪藻のスケルトネマ (*Skeletonema costatum*) でした。

表層の水温は28~31 に達しています。漁獲物の取扱いに注意してください。

2007年8月20日:底層の溶存酸素



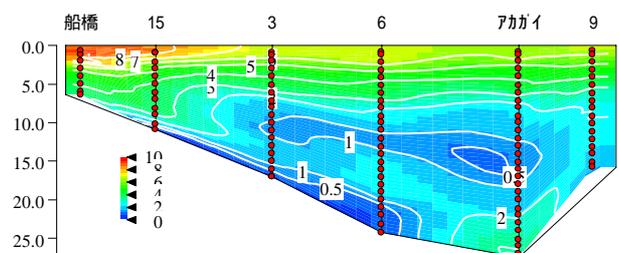
図中の×は
海底が無酸素状態だった
観測点を表す

底層の溶存酸素量分布 (ml/L:速報値)
平成19年8月20日観測分

酸素飽和度と溶存酸素量の目安

酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5ml/L	貧酸素水
30~40%	2.0ml/L	魚類に影響
	1.5ml/L	貝類危険
	1.0ml/L	
10%	0.5ml/L	

2007/8/20



縦断ラインでの酸素量の鉛直分布

「東京湾貧酸素水塊予測システム」も運用しています。水産総合研究センターのホームページからご覧ください
 携帯電話は<http://www.awa.or.jp/home/cbsuishi/cbmobile.html> からどうぞ